

令和7年度 自己点検・自己評価報告書

1.教育理念・目的・育成人材像

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【1-1】教育理念、目的、育成人材像		評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	A
1-1-2	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	A
1-1-3	社会のニーズ等に踏まえた将来構想を抱いているか	A
《現状・課題・改善案》 理念に沿った目的・育成人材像になっている。 授業像・教師像・学生像を定め、育成する人材像を明確にし、人材育成および学生指導をしている。 専任教員を中心に、理念からカリキュラム、授業、評価に至るまでの一貫性を確認する勉強会を実施し、継続的に検証している。 理念等の達成に向けて、委員会を通じた学生への啓発活動や地域との交流活動、キャリアイベントの実施など、特色ある教育活動を展開している。 中期的（3～5年程度）な将来構想として、新校舎建設計画、学校法人の設立、留学生の増員計画、卒業生に対する就労後支援、海外からの直接採用の拡大等を掲げており、それぞれ数値目標や計画について定めている。		

2.学校運営

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【2-2】運営方針		評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	A
《現状・課題・改善案》 運営方針は、理念や目標を踏まえ明確に定められている。 また、教職員に対しては経営ビジョン発表会、経営会議等で周知している。		
点検中項目【2-3】事業計画		評価

2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>中期事業計画（3～5年程度）も単年度の事業計画も定められている。 また、事業計画の施行体制、数値目標を提示し、組織図、各部署で業務分担を明確にしている。</p>		
点検中項目【2-4】運営組織		評価
2-4-1	学校運営のための組織を整備しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>今年度は、賞与規程、遠足の手当に関する規程を整備し、ステージ人事制度運用規程の改定を行った。 意思決定は、経営企画室会議、経営会議にて組織的に行われ、課員に周知されている。 予算編成の明確化は不十分である。年間を通しての見通しや資金繰り、賞与を重視している。 各教職員が外部との接点が増えてきている。情報の共有は、グループウェア、NEO、経営会議を通して行われている。 業務の見直しは定期的に行えているが、学校の規模や事業が拡大していく中で、今後も継続して改善を行っていくことが必要。</p>		
点検中項目【2-5】人事・給与制度		評価
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>採用基準・採用手続きについては、規程等で明確化し適切に運用している。 人材確保はできつつあるが、将来の構想も考え引き続き採用と人材育成、業務の効率化等の意識改革に力を入れていく。 また、賞与規程、ステージ規程、育児休業規程等古いものは改訂し、適切に運用している。</p>		
点検中項目【2-6】情報システム		評価
2-6-1	情報システムに取組み、業務の効率化を図っているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学生情報は、accessやWSDB等にて適切に管理している。 また、在留期間更新業務等はグーグルスプレッドシートを使用してタイムリーに情報提供している。 学生指導においてもWeChat、Instagram、Facebook、Messenger等を活用することで業務の効率化を図っている。 学生基本情報、成績、学費・寮費等のデータを随時更新し、最新の情報を蓄積している。 accessを同時使用の場合、ファイルが開けない、データが保存できないなどの問題があるので、教職員で連携し作業を行っている。 今後、請求書、電子帳簿保存の適切なシステムを選定する予定。</p>		
点検中項目【2-7】入国、在留に関する管理		評価

2-7-1	入国、在留に関する管理、指導、支援が適切に行われているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>入管法上の留意点については、SNS等利用して学生への伝達・指導を実行している。</p> <p>出席不良など在上問題のある学生に対しての個別指導は都度実施。</p> <p>不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないため、オリエンテーションや啓発活動を日常的かつ継続的に行っている。在留期限の管理がしっかりできており、更新漏れがない。更新後の新在留カードの写しを随時確認し、最新情報を正確に把握している。</p> <p>資格外活動違反者の根絶が課題。退学、除籍後のフォロー体制が未整備、不法残留者発生を追跡ができてない。</p> <p>オリエンテーション時に母国語でのより徹底周知と事例提示が必要。</p>		

3.教育活動

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【3-8】目標の設定		評価
3-8-1	クラス毎に到達レベルを明確にしているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>クラス毎に、月間、中長期の目標を設定し、教師と学生に共有をしている。</p> <p>教育到達レベルについては、進路の多様化にともない見直しが必要。特に下位クラスは目標に達しない学生も一部存在するため、目標設定をどうすべきかが課題。</p> <p>学生が目指す就職のためにはどのような資格・免許が必要なのか、入学前の面接時から周知している。</p> <p>また、入学後も試験のスケジュールを学生に伝えるとともに、対策授業や申し込みのフォローなどを細かく行っている。</p>		
点検中項目【3-9】教育方法・評価等		評価
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学生のレベルと必要資格の取得状況、学生アンケートによる学生の希望を考慮した授業が行われている。また、教師の勉強会を開催し、授業内容の向上に努めている。</p> <p>入学時期に合わせた年間・月間の授業計画は作成しているが、シラバス・コマシラバス等は作成していない。</p> <p>カリキュラムは毎年度末に振り返りを行い、学生の目標達成に沿ったものになっているか見直しを行っている。</p> <p>今後は日本語教育の参照枠の考え方に沿った教員の意識改革とカリキュラム見直し、学生の自律学習指導が課題。</p>		
点検中項目【3-10】クラス運営		評価
3-10-1	学生に合ったレベルでクラス編成を行い、クラス運営を適切に行っているか	A

3-10-2	授業評価を実施しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>入国前のオンライン面談とJLPT既得級確認、入国後のプレイスメントテスト結果によってクラスを編成している。</p> <p>レベル設定は、CEFRの評価項目を参考として評価。「使う日本語」を意識している。</p> <p>授業の進度に合わせてテストを行い、理解度や到達度の確認を行っている。また、今年度は期末テストの日程を全コース共通とし、全教員がコースの垣根を超えた協力体制のもと筆記試験、会話テストを行った。</p> <p>授業記録簿や出席簿は、その日の担当教員が正確に記録している。毎月の締め日にはクラス担任が最終確認を行っている。授業記録を毎日引継ぎし定期的にクラスミーティングを行うことで、担当教員同士で情報を共有している。</p> <p>授業力向上のため、勉強会で専任・非常勤を問わずアドバイスする機会を設け、ブラッシュアップに繋げている。</p>		
点検中項目【3-11】 成績評価		評価
3-11-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>今年度よりコースごとに実施していた会話テストと評価を、全コース統一した。</p> <p>全コース共通の学期末テストを行い、統一した判定基準で成績評価を行っている。基準は試験前に学生に明示している。</p> <p>試験後に成績フィードバックの日を設け学生に伝え、学期末にコメントを添えた成績表を渡している。</p> <p>成績評価の基準を適切に運用するための会議等は開催していないが、会話テストの内容・判定基準は都度見直し、複数回にわたり勉強会を通じ共有されている。</p>		
点検中項目【3-12】 資格・免許の取得の指導体制		評価
3-12-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	A
3-12-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義については、選抜面接、入学前面接、授業内の説明会の時間で周知している。また、必要性に応じて希望者には、特定技能試験対策を行っている。</p> <p>特定技能試験は、必要な時期までに合格するように、事務と教務で連携して学生に説明。</p> <p>就職後に介護福祉士を目指す卒業生の学習として、オンラインJLPT対策授業と実務者研修を行っている。看護師国家試験対策においては、看護師の資格をもった教員が授業を受け持っている。看護師国家試験不合格の場合は、准看護師支援プログラムでフォローを行っている。</p>		
点検中項目【3-13】 教員・教員組織		評価
3-13-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A

3-13-2	教員の組織体制を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>教員の募集にあたり、採用方法・資格・雇用条件を明文化している。昇格措置についてはステージ制度を導入し、主任面談を通して評価とフィードバックを伝えている。</p> <p>クラス担当を検討する際は、レベルやクラスを考慮し教員を配置している。</p> <p>教員一人当たりの授業時数、学生数等は把握できている。</p> <p>SNSを用いて授業の引継ぎを担当教員間で行うことにより、学習状況だけでなく学生の様子も詳細に把握でき、授業や学生指導に活かすことができている。また振り返りミーティングを行い、新しいアイデアを授業に反映させている。</p>		
点検中項目【3-14】教員及び職員の資質向上		評価
3-14-1	教員及び職員の資質向上への取組を行っているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>今年度はT A M A日本語学校協議会による勉強会、座談会が昨年度より活発になった。</p> <p>必要な授業見学、学内勉強会は定期的に開催している。</p> <p>セミナーや日本語教師の外部勉強会等を周知しているが、個人に任せているため参加者が少ない。</p> <p>今後はP D C Aサイクルに基づいた、研修後のフィードバックやアクションプラン等、各自の成長が見える化できるような研修計画が必要。</p> <p>学生の進路多様化に対応した教員の知識向上と、指導方法の意識改革が今後の課題。</p>		

4.教育成果

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【4-15】成績・試験結果		評価
4-15-1	成績、試験結果の管理をし把握しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>レベル修了テストの結果はアクセスで保管、管理している。クラス内での確認テストや模試の結果などは、担任が紙かデータで保管、管理を行っている。</p> <p>修了・卒業の判定は、卒業認定試験結果、内定状況、資格試験の可否などをもとに行っている。</p> <p>学生の自己評価は、本年度から、マイゴールノートを導入、学期末に授業内、または個人面談で確認、次回の目標を設定してもらっている。</p>		
点検中項目【4-16】就職支援		評価
4-16-1	就職目的の学生の支援ができてるか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学生名簿を作成し、アルバイト状況から就職活動まで一元管理し、都度更新もしている。</p> <p>技・人・国の在留資格申請の際に、専門分野の詳細まで把握する必要がある。</p>		

また、学生と面談を行い、進路把握に努めている。

介護・看護コースでは、アルバイト面接、就職説明会、面接会を実施している。

また、就職先である介護施設や病院の担当者を対象とした介護部会や事務部会、看護部会を実施し、常に情報収集し、最新状況に応じた対応を対内、対外双方に行っている。

就職コースでは企業見学、合同採用説明会を実施した。

点検中項目【4-17】卒業生の社会的評価		評価
4-17-1	卒業生の進路、社会的評価を把握しているか	A
《現状・課題・改善案》		
就職コースでは、企業訪問や面談の際に卒業生の就業状況を聞き出し、現状を把握している。 介護や看護クラスは、OBOG会や激励会等の行事を通して、直接卒業生の状況を把握している。 介護養成校卒業生についても、在校生との座談会を初めて行い、情報交換した。 また、就職後の面談や雇用状況の調査を行うなかで、何かあれば相談を受けられる体制を整えている。		

5.学生支援

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【5-18】進学・就職指導		評価
5-18-1	進路に関する支援組織体制を整備しているか	A
《現状・課題・改善案》		
各クラスで定期的または適宜面談を行い、学生が希望する進路を把握し共有している。また、入管の調査が厳しくなっている中、常に連携企業と共有し、相談している。 教務と事務が連携を密に取りながら、学生の希望に応じて採用募集の紹介や進路説明会などを行っている。 採用情報などは常に最新情報を掲示し、学生が閲覧できるようにしている。また学校資料やオープンキャンパスの案内も常に最新情報を掲示し、閲覧できるようにしている。 履歴書、自己紹介シートの添削や面接練習の体制を整え、授業内で面接時の服装やマナーなども指導している。特定技能試験合格率を向上させるため、特別講座もある。 看護・介護では、就職後も続いていく支援のため個々の担当職員の負担が大きいことが課題である。		
点検中項目【5-19】中途退学への対応		評価
5-19-1	退学率の低減が図られているか	A
《現状・課題・改善案》		
退学の要因は、主に就職、学費の不足、帰国などであり、退学者数も把握できている。 1か月の出席率が8割を下回った生徒については面談し、理由と今後について指導を行っている。 面談記録は卒後1年間は保存している。また、海外のエージェントを通じて学生の保護者と連絡を取り、出席率が改善するよう働きかけを要望するなども行っている。 退学者の低減に向けて、学生から相談を受けた時点で、または授業内での気づきがあった時点で個別対応を		

行っている。

課題であった早期就職希望し、2年目の学費納入ができない学生に対し、学費分納条件を徹底し、1年で早期退学者の進路を確認し、共有している。

点検中項目【5-20】学生相談		評価
5-20-1	学生に対する相談体制を整備しているか	B

《現状・課題・改善案》

学生相談は、英語、ベトナム語、中国語、モンゴル語、ミャンマー語にて対応。コース変更などの相談にも、可能な限り早く対応している。
在籍管理も適切に行っている。
オリエンテーションを入学直後に実施し、生活面の質問にも個別に回答している。
特に、交通マナー、ごみ捨てのルール、避難訓練、社会人マナーなどの点は、警察や消防署、市役所と連携して教育している。また、授業内でも定期的に取り上げている。通知事項もSNSなどで早急に学生に拡散している。
今後はハラスメント対策を強化し、教職員に直接相談しにくい案件への対応が必要。

点検中項目【5-21】学生生活		評価
5-21-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	A
5-21-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	A
5-21-3	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	A
5-21-4	日本の文化やマナー等を教育する取組を行っているか	A

《現状・課題・改善案》

独自の奨学金制度や、学費の分割納付制度を整備している。契約書も弁護士を介して整備した。
またアルバイトに関する指導・支援も行っている。
併せて、不法就労について理解を促すために、オリエンテーションで周知徹底するとともに、夏休みなどの長期休暇前にも指導を行っている。
しかし、学校の権限内でアルバイト状況管理まではできず、意識喚起にとどまっているため、アルバイトに関する管理体制の強化が今後の課題。
結核検診結果で精密検査・治療までフォローしている。病院の引率も状況に応じて行っている。
対象となる学生全員が国民健康保険・国民年金に加入している。
在籍中の留学生には全員自転車保険をかけている。
看護師資格を持つ教員が常駐し、近隣の医療機関との連携は見直し中である。
交通事故の相談、保険会社への対応、怪我があった場合の病院引率など、一連の手続きが全て解決するまで教職員が寄り添って対応している。

6.教育環境

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【6-22】施設・設備等		評価
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>図書室は設置しているもののほとんど活用されていない。また、図書やメディアは学生数に対応できるだけの取り揃えではないため、今後整備が必要。</p> <p>課題であった視聴覚教材やITを利用した授業を行うための設備は、電子黒板を追加し、学生用タブレット多く用意した。これに伴い、プロジェクターやタブレットPC、オンライン授業用のアプリ等は整備が進んだ。</p> <p>学生が授業時間外にも使用できる自習室は整備できている。</p> <p>各教室の照度や換気、遮音性は授業に必要なレベルで確保されているが、一部の教室でエアコンだけでは暑すぎるなどの問題がある。</p> <p>衛生面では各所にアルコール消毒を、手洗い場にはペーパータオルを設置している。</p>		
点検中項目【6-23】防災・安全管理		評価
6-23-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A
6-23-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>地震災害発生時の行動マニュアルは整備できている。</p> <p>また、避難方法、避難経路、避難場所を定めて、年1回全学で避難訓練を行っている。</p> <p>消防設備の整備や保守点検は法令に基づき適切に行われている。</p> <p>備品の転倒防止などの安全管理は徹底しているが、設備の入替等で完了してない箇所がある。これについては定期的な見直しと対応が必要。</p> <p>気象警報発令時の措置は定めていないが、経営企画室で都度対応を決めている。</p> <p>教職員、学生に年1回火災予防の呼びかけを行っている。</p> <p>教職員にはAED講習会と避難梯子体験を実施している。AEDの無い新校舎にはAED貸出カードあり。</p> <p>防犯体制は整備していない。今後、様々な可能性を検討しマニュアル化していきたい。</p>		

7.学生募集

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【7-24】入学者の募集と選考		評価
7-24-1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A
7-24-2	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
7-24-3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A
7-24-4	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	B

7-24-5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
7-24-6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	A
7-24-7	入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A
7-24-8	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A
7-24-9	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	A

《現状・課題・改善案》

学生募集会議を定期的に開催し、学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。

各国語版の募集要項を作成し情報を開示している。

海外のエージェントに対しては正確な情報提供を行っているが、募集活動が適切に行われているかの把握は十分にできてない。学生が実際に募集代理人に支払った金銭の名目及び額を100%把握するのは困難。そのため、入学後の学生経由で把握を行ったり、必要に応じて直接エージェントに対して事実確認を行っている。

入学選考は書類選考と面接にて行っており、これらの結果をもとに総合的に合否判断している。

面接試験のデータ記録は、入学後3年間保存している。

学生から提出された根拠資料に疑問がある場合は、都度必ず確認を行っている。

不法残留者を多く発生させている国からの志願者のみならず、必要に応じて面接での調査を実施している。

入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用は全て明示されている。

学費返還条件等は募集要項に明示しており、これに基づいて処理をされている。

8.財務

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【8-25】財務基盤		評価
8-25-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	A
8-25-2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	A

《現状・課題・改善案》

応募者数、入学者数、及び定員充足率の推移は把握できている。

必要に応じて順次設備投資を行っているが、過大にはなっていない。

最近3年間の収支状況による財務分析、キャッシュフローの状況を示すデータの作成を行い、経営会議等を通して全教職員へも情報共有はできている。

財務改善計画は専門家に意見を聞きながら5か年計画策定している。

点検中項目【8-26】予算・収支計画		評価
8-26-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	A
8-26-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B

《現状・課題・改善案》

予算が出しにくい状況にあるため、現状は策定していない。
年度における経営ビジョンや方針を教職員に浸透させることに重きを置いている。
キャッシュフローや収支、支出については見える化し、周知する取り組みは行っている。
監査報告書の作成、及び監査での指摘事項についての対応は適切に行われている。

9.法令等の遵守

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【9-27】関係法令、設置基準等の遵守		評価
9-27-1	法令や設置基準を遵守し、適切な学校運営を行っているか	A
《現状・課題・改善案》 学校運営は「日本語教育機関の告示基準」を順守し、条件を満たしている。 定期的な報告、変更・留学生受け入れ、終了等の届出も、入管法または告示基準を遵守し適切に行っている。 学則、就業規則、給与規程等の主要な規程は整備され、適切に運用されている。 補助教材、生教材を使用する場合は、著作権法に留意して出典を明らかにすることに努めている。 地方出入国在留管理局、その他関係官公庁等への届出、報告も遅滞なく行っている。 教職員のためのハラスメント窓口は設置されているが、学生に対応する窓口の設置が必要。今後フローの作成と学校以外の留学生ハラスメント相談先の紹介を行う。		
点検中項目【9-28】個人情報保護		評価
9-28-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	B
《現状・課題・改善案》 法人事務局への部外者（学生含む）立入禁止を徹底。法人事務局 不在時施錠。 個人情報保護規定の準備は進んでいるが、個人データの取り扱い規定を制定していない。 今年中の制定を目指す。 学校が開設したサイトの運用については外部のサイト制作会社に依頼し、より安全性の高い運営となっている。		
点検中項目【9-29】学校評価		評価
9-29-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	A
9-29-2	自己評価結果を公表しているか	A
《現状・課題・改善案》 学則及び規程等を整備し実施し、担当者のみでなく全体で共有している。 9月中間報告会、3月最終報告会を実施している。		

組織体制の変更に伴い、チェック項目の見直しや新規追加も行き、より実務に即した内容で点検・評価を行った。

評価結果を基に学校改善への取り組みを順次行っている。

評価結果は最終報告がまとまり次第公表する。公表は4月初旬の予定。

点検中項目【9-30】教育情報の公開		評価
9-30-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	A

《現状・課題・改善案》

学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報は、ホームページ、紙媒体、SNS等にて公開している。広報担当者を中心に、教職員・学生からも情報を提供してもらい、積極的に発信している。

10.社会貢献・地域交流

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【10-31】社会貢献・地域貢献		評価
10-31-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A

《現状・課題・改善案》

地域交流の取り組みとしては、地域の方に参加していただく日本語サロンを定期的に行っている。また、地域の高校と交流会を行ったり、地域の行事やお祭りに参加している。

料理教室やスポーツを通して、地域住民と交流できるイベントも開催。

今年度も「多文化共生フェスティバル」を開催。西多摩ケーブルネットワークやハローFMなどの広告媒体にも取り上げていただき、多くの地域の方や子どもたちにも足を運んでいただいた。

地域貢献の一環として、長期休み前にクラス単位で学校周辺の清掃活動をしている。

点検中項目【10-32】ボランティア活動		評価
10-32-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A

《現状・課題・改善案》

ボランティア活動など社会活動については、募集案内を学校全体に周知し、積極的に参加するよう呼び掛けている。

ボランティア活動を行った際は、実施要項、参加人数等の実績を取りまとめ、データで保管している。

また、ボランティア活動の様子はホームページやSNSに写真付きで掲載し、実施報告を行っている。